

## 研修指導者による評価項目

「小児科医の到達目標」（平成14年2月1日改訂）の総論に記載されている項目のうち、「態度」「一般的診療能力」に準拠して、5段階評価を行う。（5が大変優れている、3が標準的、1が要努力として評価する。）

態度 (attitude)					
1. 医の倫理	5	4	3	2	1
2. 患者と家族に対する態度	5	4	3	2	1
3. 患者教育	5	4	3	2	1
4. 他の医療関係者との協力	5	4	3	2	1
5. 地域医療	5	4	3	2	1
6. 医療及び福祉関係社会資源の活用	5	4	3	2	1
7. 国際的感覚	5	4	3	2	1
8. 自己研修	5	4	3	2	1
9. 研究	5	4	3	2	1
10. 意思決定の困難な場合への対応	5	4	3	2	1
11. 医療経済	5	4	3	2	1

一般的診療能力					
1. 面接及び病歴の聴取	5	4	3	2	1
2. 診察	5	4	3	2	1
3. 診断	5	4	3	2	1
4. 臨床意志決定	5	4	3	2	1
5. 治療	5	4	3	2	1
6. リハビリテーション	5	4	3	2	1
7. 一般教育への配慮	5	4	3	2	1
8. 病歴の記載	5	4	3	2	1

(9. 以下の項目は、診療技能の各論に属するため、自己評価がふさわしい)

総合的な評価